

令和8年度 エンブリオ・プログラム (Embryo Program) 公募要領

— 学群生のアイデアを芽吹かせる研究助成 —

1. メッセージ

人間の未知なる可能性を胚になぞらえ新たなアイデアが芽吹く場所—それがエンブリオ・プログラムです。私たちは、学群生の革新的なアイデアを芽吹かせ、ともに未来社会に花咲かせることを目指します。

2. 支援対象の研究

筑波大学学群生3年次以下のチームが実施する自主的で独創的な研究活動であって、次の①又は②に該当する研究。

- ① 現在および未来社会が抱える(地球規模)課題解決を目指す研究
- ② 人、社会、地球の健全な未来の構築に資する研究

3. 支援の内容

- 1件あたり最大30万円。採択数5チーム程度 ※選考結果により金額・チーム数は増減があります。
- 研究資金の使用例：実験試料等の物品購入、フィールドワーク等の旅費、イベント等会場費、講演者への謝金・旅費等

※本プログラムは、学群3年次以下のチームが行う本格的な研究活動を支援するものです。すでに本格的な研究テーマを持っているチーム、あるいは、ARE*で研究を体験してさらに進んだ研究をめざすチームなどの支援を想定しています。

*ARE(先導的研究者体験プログラム)は、研究活動を体験することができるプログラムです。個人での申請も可能で、経験や実績に応じた種目が設けられています。予算額が限られていますが、例年、40件以上の幅広い課題が採択されています。(AREウェブサイト：<https://www.are.tsukuba.ac.jp/>)

4. 応募条件：

(1) 応募時

- ①プロジェクト責任教員が実施内容の了解を得ていること。
プロジェクト代表者(学群生)のクラス担任や指導教員等が、応募書類一式と別紙「教員への依頼文」を確認し、プロジェクト責任教員となることを了承していること。
- ②ゼミ等での研究や卒業論文の作成を直接の目的とするものではなく、自主的な研究活動であること。
- ③本学の学群3年次以下、かつ2人以上のチームであること。
※構成員が複数の学群にまたがるチームによる事業を優先する。
※1チーム1応募とし、同一チームによる重複応募は認めない。(同一人物が複数チームに所属し、別のチームの構成員として応募することは差し支えない)。
- ④チームが学生団体の場合は、応募するプロジェクトが当該団体の通常の研究活動内容ではないこと。
- ⑤支援金の使途が、既成物品の購入のみではないこと。
- ⑥研究倫理eラーニングコース[eL CoRE]を受講すること。

<https://elcore.jsps.go.jp/register.aspx>

(2) 採択後

- ①必要な場合、プロジェクト責任教員が所属する組織の研究倫理委員会の承認を得て研究を開始すること。
- ②成果報告書を期限までに提出し、成果報告会で最終成果を報告すること。

5. プロジェクト実施期間：採択通知後から令和9年3月31日まで
(※プロジェクト経費執行期限は令和8年2月28日)

6. 応募書類受付期間：
令和8年3月23日(月)～5月22日(金) 17時厳守

7. 応募書類

- ①申請書(様式1) ※プロジェクト責任教員の署名必須。
 - ②必要経費内訳書(様式2)
 - ③添付書類(見積書、カタログ等)
 - ④構想全体の説明スライド
- ※①②は [DESIGN THE FUTURE 機構ウェブサイト](#) からダウンロード
※①②は、別紙〔申請上の注意事項〕〔経費について〕を確認のうえ作成すること。
※①②の作成にあたり、様式は変更しないこと。
※③④は様式任意 ※書類作成にあたって不明な点があれば、早めに下記12へ問い合わせること。

8. 選考方法

- 第一次選考(書面審査)
第二次選考(ヒアリング審査) ※第一次選考合格者のみ

9. 評価について

第一次選考：申請書(様式1)の記載内容に対する評点合計の上位がヒアリング審査に進みます。

	評価項目	評点(満点)
1	研究テーマ設定に至る背景を理解し、かつ着想が独創的で優れているか。 (申請書3・4・5)	20
2	目的を達成するために適切かつ具体的な研究計画が立てられているか。 (申請書6)	20
3	個人情報の取扱いや安全対策の重要性を十分に認識し、かつ必要な場合、示された取扱いや対策は妥当かつ十分か。(申請書7・8)	10

第二次選考：プレゼンテーションと質疑応答から総合的に評価を行います。

10. スケジュール（予定）

【応募・採択】

令和8年3月23日（月）	公募開始
5月22日（金）17時	応募書類提出期限
5月下旬～6月上旬	第一次選考、第二次選考
6月中旬	採否通知
	採択通知後からプロジェクト経費執行開始

【留意事項】

令和9年1月末（予定）	プロジェクト経費執行期限（採択後に詳細説明）
3月末（予定）	成果報告書提出
4月中（予定）	成果報告会（参加必須）

11. 応募方法・問い合わせ先

件名を「エンブリオ・プログラム（プロジェクト名）」として、まずはメールで問い合わせてください。
詳細をご連絡いたします。

事務局：研究推進部研究企画課 DESIGN THE FUTURE 機構事務局

TEL：029-853-2925

E-mail：sdgsweb[at]un.tsukuba.ac.jp（※[at]を@に置き換えてください。）

WEBサイト：<https://www.osi.tsukuba.ac.jp/sdgs/>

13. プログラム責任者

DESIGN THE FUTURE 機構長 西尾 チヅル

【別紙】

●応募上の注意事項

1. プロジェクト責任教員（本学常勤教員）をおき、応募書類の作成にあたっては、当該教員に応募前に相談し、助言を受けること。
2. プロジェクトが安全への配慮が必要な活動を含む場合は、当該活動内容を保証する保険（学研災・付帯学総等）にチーム構成メンバー全員が加入すること。
3. 代表者・副代表者の連絡先（携帯電話、E-mail）は、常時連絡が取れるものを記載すること。事務局からの問い合わせに対して速やかに回答をしない場合や、事務局が要請した書類の提出やイベントへの出席が為されない場合は、申請不受理又は採択取消とすることがある。
4. 必要経費内訳書（様式2）は、以下〔経費について〕を確認のうえ作成すること。

●経費について

1. 支払い対象は、原則として必要経費内訳書（様式2）に記載された事項のみとする。
研究計画・経費内訳の変更は原則認めない。どうしても変更が必要な場合は、時間的余裕をもって事前に事務局に相談すること。
2. 経費の執行は、本学会計関係規則等に基づくものとする。
3. 支払い項目は、プロジェクト遂行上必要となる次に掲げる事項とする。
 - （1）物品：10万円以上の物品、換金性の高い物品（デジタルカメラ、PC、タブレット端末等）は不可。高価なものは使用頻度を鑑みて、できるだけレンタルで対応すること。
 - （2）役務：郵便費、宅配費等
 - （3）旅費：宿泊費、交通費
 - （4）謝金：研究協力者謝金等
 - （5）その他：プロジェクト遂行上必要と認められるもの（飲食費は不可）
4. 出張や購入等の手続きは、原則として大学事務局（12. 問い合わせ先）を通じて行う。
5. 出張や購入等を希望する場合は、1週間前までを目安に必ず事務局に事前連絡を行うこと。必要な提出書類や提出期限を事務局に確認し、購入等する物品等の規格や金額が分かる資料を事前に大学事務局に提出すること。